

# 日光高山山行報告

【山行日】2021年6月5日(土) 晴れ

【集合】栃木市運動公園P AM 6:30

【費用】マイカー2台 : 2,100円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL関 安西、石澤、  
嶋田、島田、廣瀬、福島、藤原、

【コースタイム】栃木市運動公園P6:30=竜頭の滝  
P7:35/7:50~高山 9:20/9:30~熊窪分岐 10:25~  
千手ヶ浜 10:45/12:00~赤岩 12:45~竜頭の滝  
P13:20/13:30=栃木市運動公園P14:40



本日の山行は赤岩滝に行く予定だったが、前日奥日光が大雨だった為、急遽日光高山に変更した。赤岩滝は沢の渡渉が数か所あるため、我輩も初めてのコースなので安全を優先し変更となった。



予定通り栃木市運動公園を出発し、竜頭ノ滝下の駐車場に着く。トイレを済ませストレッチを行ってから出発する。竜頭ノ滝沿いの道を登って行くと、昨日の雨で水量が多く滝に迫力がある。ミツバツツジやヤマツツジは終盤ではあるが、まだ最後の力で新緑に彩りを添えていた。滝の水流に新緑とツツジの赤、この時季ならではの見事な光景である。滝上で道路を渡り、橋を渡って高山登山口に着く。案内板とシカ避けのゲートがあり、ネットを空けて登山道に入る。ササとカラ

マツ林の中の道で、とても気持ち良い登山道を進む。やがてジグザグの登りになり、途中シロヤシオの花が咲いていて、先行者がカメラに収めていた。鞍部に出て休憩し、衣服調整と水分補給を行う。ここからやや急な登りとなり、アップダウンを繰り返しながら尾根を進む。シロヤシオやシャクナゲの花が見られ、木々の間から中禅寺湖が見えるようになる。ブナやミズナラの大木が見られ、見上げると透き通るような若葉に癒される。しばらく平坦な尾根が続くが、山頂手前から急な登りが待っている。左手に中禅寺湖を望みながら急坂を登ると傾斜が緩くなり、高山山頂の標識が見えてくる。山頂は平らで広く、三角点や山頂標識が置かれているが、眺望はあまり得られない。休憩を取って記念写真を撮り、果物や菓子をいただきながら疲れた足を休める。山頂にはシロヤシオやミツバツツジが残っており、皆さんが嬉しそうにスマホに収めていた。山頂から西側に向かって行くが、ここからの斜面はシロヤシオとミツバツツジが群生している。花のピークは過ぎていたがまだまだ多く残っており、花のトンネルの中を下って行く。



下り切った鞍部が熊窪分岐で右に進むと小田代ヶ原、左に進むと中禅寺湖畔の熊窪に至る。我々



は左に中禅寺湖に向かって下り、ミズナラの自然林がとても気持ちよい。足元には薄いピンクのクワガタソウが見られ、爽快に下って熊窪に出る。ここから中禅寺湖畔を右に進み、明るく開けた千手ヶ浜に出る。千手ヶ浜は広々としてとても眺めが良い浜で、中禅寺湖の向こうに男体山が聳える景色が素晴らしい。初めて来た人たちは「エ～こんな素晴らしい所が日光にあったんだ！」と驚いていた。そのまま湖畔に沿って進み、橋を2つ渡ってクリンソウの群生地を見学する。まだ時期が早いのかクリン

ソウの花数は少ないが、ピンクや赤のクリンソウに癒される。湖畔に戻り砂浜のベンチでランチタイムとし、ベンチを風よけにしてキノコ汁を作る。

煮タマゴやキンピラ、タマネギの酢漬け等もあり、男体山を見ながら美味しくいただいた。ランチが済んだら湖畔の道を熊窪まで戻り、さらに湖畔沿いに進んで竜頭ノ滝に向かう。ミズナラの大木とヤマツツジのオレンジ色、中禅寺湖のブルーがコラボしなんと素敵なプロムナードである。しばらく歩くと少し登るようになり、赤岩と呼ばれる展望が良い岩場に出る。岩の上



に上がると展望が良く、景色を楽しみながら一息入れる。湖岸に沿って道なりに進み、菖蒲ヶ浜の手前で大きく左に曲がるとスキー場跡の広い駐車場に出る。駐車場を横切って道路に出て、道路を左に進むと竜頭ノ滝駐車場に着く。靴を履き替え、トイレを済ませたら帰路につく。当初の目的だった赤岩滝には行けなかったが、高山のシロヤシオやミツバツツジ、千手ヶ浜のクリンソウ等沢山の花に出会い、思い出に残る山行となった。